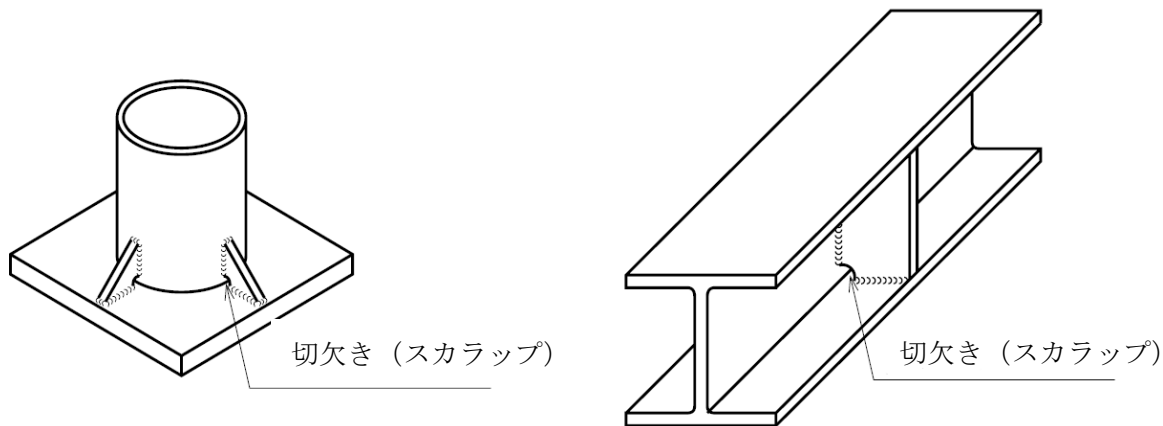


## 予防処置を必要とする素材

### 管状物又は部分的な袋状の箇所を含む場合

形鋼と補剛材との組合せによる部分的な袋状箇所の場合 管類でリブ，ガセットプレートなどによる袋状の箇所がある場合，コーナ部に切欠き（スカラップ）をとる。

形鋼と補剛材（リブ及び水平・垂直スチフナ）との組合せによる部分的な袋状の箇所は，空気及び亜鉛のたまりをなくすため，コーナ部にスカラップをとって下さい。



「日本規格協会発行 JIS H 8641」一部引用